

発行 NPO法人前橋・在宅ケアネットワークの会

〒371-0037 前橋市上小出町2-42-5 斎藤浩様方

TEL027-235-6283 FAX027-235-6284 Email:info@npo-sasaeai.net 郵便振替口座 00150-2-155119 本紙は高齢者の住みよい街づくりを願い、医療・介護の従事者、関心ある市民にむけ年4回、毎回 2000 部発行しています。趣旨にご賛同の方はぜひご入会をお願い致します。

## -2015 年 新春号-

- P2 上小出ささえあいの会が講演会
- P3 介護予防活動ポイント制度の紹介
- P4·5 開業医/「ほうかつ」双方に聞く・続報
- P6 訪問看護ステーションからひと言
- P7 連載 終の棲家
- P8 有志医療機関から新年のご挨拶



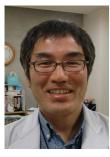
写真/町田和雄氏 (撮影 2014 年 4 月)

るのではないかと考えております。その節には

医療・介護における多職種の有機的な集合体するのは容易ではないと思われます。当会はるようですが、医師会内部だけでこれを構築

として歴史があり、何かしらの役割が果たせ

ます。
本年もところし
オター



要な役割を果たすようになると思われます。 が、このセンターはそれをクリアするために重 を妨げる垣根として連綿と続いてきました の高さ、 称)」が創設されるようです。 医療がもつ敷 として「在宅医療・介護連携支援センター 係者や地域包括支援センターからの相談窓 包括支援センターですが、 徐々に明らかにされるようになり、 知されるところとなって参りました。 医師会内に設置されることが想定されてい 地域包括ケアシステムは、 住民からの相談窓口はこれまで通り地 介護システムの分かりにくさが、 新たに医療・介護関 行政から具体策 計 連 、ぶ周 画 携 居 域 - 1 -

# 理事長 中田裕

2015年

年頭

にあ

1

っ

7

# 健康講話と

# んなで歌う。 講演会を開催

どについて解説しました。後半は皆で 動・そして心…」と題して講演。正しい 内科泌尿器科医院院長)が「栄養・運 時半、小保方正作会長の挨拶で開会。 歌う会でゲストにミュージシャンの滝寿 食事理論、 前半は町内で開業の斎藤浩医師(斉藤 歌う講演会が開かれました。午後1 館で「上小出ささえあいの会」と同町 「緑寿会」共催の健康講話とみんなで 昨年 11月13日午後、上小出町公民 効果的な歩き方、運動な

脈」「四季の歌」「山小屋の灯」「上を向 久さん、夏川千衣さんを加え、 いて歩こう」などの曲を合唱しました。 医師と三人が歌を披露しつつ「青い山

斎藤

『またやろうか。やろうよ』という、

あ

上小出ささえあいの会

うんの呼吸で話が決まります。ずつと

緑寿会と共催でやってきました。

# ■小保方会長の話

開催の経緯を伺いま した。「本会は平成 らしい会ですね、と 10年に斎藤先生の 会長さんに素晴

アドバイスで誕生しました。毎月一 今回で 3 回目。斎藤先生と私たちで す。この健康講話とみんなで歌う会は 神社行事の支援などの活動をしていま 集まり研修会や広場の除草、食事会、 回

みんなで合唱



した。 世話役が環境美化や生涯学習などの 年の地域活動のコツを語って下さいま 見知りになる努力が大事だね…」と長 自治会の役に顔を出して新しい人と顔

# ■斎藤医師の話

についてお話しした。とくに強調したい のためにもっとも大事な食事・運動・心 藤先生に感想を伺うと「今回は健康 のは仲間とのフレンドシップの大切さ。 講話と歌手を務め喝采を浴びた斎

> ばれていますが当地区はその模範で 齢化対策で地域包括ケアの推進が叫 とはとても効果的な予防活動。いま高 健康について学び、声を出して歌うこ です。こうして住民が自発的に集まり そして生活習慣改善の実践の重要性 す」と話されていました。

て、新旧がうまく交流するにはやはり

住民は古くからの人と新しい人がい

を。 ば無料進呈するとのこと。ぜひご連絡 には斎藤医師に直接電話で申し込め れながらご了解をいただき、希望の方 Dを購入可能かをお尋ねすると、照 を知り、もし本紙読者が希望したらC ろうか。今回のインタビューでそのこと で3枚も出されていることをご存知だ 歌」であり、すでにご自身の歌をCD ところで斎藤医師の趣味のひとつが (聞き手・写真/編集部







響く3ミュージシャンの歌声



とし、その活動をポイント化し、買

健康増進に繋げていただくことを目的 献活動を推進し、ご自身の介護予防・

物券などと交換することで、皆さんの

皆さんの地域での社会参加、

地

|域貢 者の

年度 平成

介護予防活動ポイント手

前 橋 市前橋市社会福祉協議会

:橋市の資料によると、「高齢

のも必要ではないかとの考えがありま

ボランティア活動に対し、

、特典的

なも

開始のきつかけは、

介護施設などでの

平成 年度

前橋市

介護予防活動ポイント手帳

前橋市 市 前橋市社会福祉協議会

され1年余り経過しています。

制 度 始 今回は、

前橋市介護予防活動

ポイン

ト制度のご紹介をいたします

この制度は、

、 平 成 25

年 11

月に開

# 前橋市介護予防活動 ポイント制度について

ささえあい編集委員 三森 和也



②介護予防サポーター活動 防サポーター 録済の方 養成研修修了者で登 介護

③在宅・地域における高齢者支援活 動(買い物支援など)となっていま

す。 このことから、活動は①介護予防サ

①介護保険施設での高齢者支援活 方です。ポイントの対象となる活動は 歳以上で要介護認定を受けていない 登録できる方は、前橋市内在住、 動・施設内での作業等) (利用者との歓談・移動介助・慰問活 60 活動を応援します」としています。

予 います。 13 時

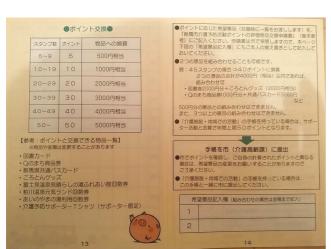
現在、特別養護老 施設となっています。 受け入れ施設は、 人ホー

健

にて一般登録者向けの研修会を行って が交付されます。ちなみに毎月10 が登録し活動しています。 「介護予防活動ポイント手帳」(写真) ター377名、 ター 30分から前橋市総合福祉会館 26 年 2 11月現在、介護予防サポ 般登録者の二つとなり 般登録者351名 登録者には

26 年 12 ム等で117 月現 25 日

康 寿命ができるだけ長く過ごせ





待されます。 のまちづくりがすすむことが大いに期 録していただき、健康増進・介護予 切だと思います。 増進にも役立つこの活動は非常に大 役立ちながら、自分の介護予防・健康 援や介護予防の普及啓発など社会に ることは誰もが願うものです。介護支 今後、多くの方に 登

ご覧になるか、 前橋市社会福祉協議会ボランティアセ 護予防係027-898-6133または、 合わせ下さい。 ンター027-232-3848までお問 詳しくは、前橋市のホームページを 市役所介護高齢課介 (ケアマネ・市議

むなどの方針が打ち出されています。

# 続

# かかりつけ医を核とする他職種連携を基盤とした

|介護予防の視点からの在宅医療モデルの構築と提示」の模索を

援センター職員5氏にインタビューしました。その結果を報告します。 か。介護予防、地域包括ケア、在宅医療などについて訪問診療を取り組んでいる開業医6氏と4か所の地域包括支 超高齢化、人口減少という未知の時代の到来に、私たちはどう対応したらよいか、これからの活動をどうすべき

奥 野 みどり(群馬パース大学講師)

頂きました。 案のひとつとして右記の提案をさせて 充実を目指す本会の今後の活動方針 昨年一月の本紙73号で、在宅ケアの

させて頂きます。 会の活動の一案として、改めて会員と 読者の皆さまに今後の活動の提案を 今回、その要旨を報告し、今後の本

ことは、介護保険導入から15年が過 は「地域で支える在宅医療の推進」と 題は何なのか?ということでした。 に、どのような変化が起き、今後の課 ぎ、導入前とその後、現在に至るまで 市町村と医師会とが連携して取り組 して、少数の先進的な医師だけでなく インタビューの実施にあたり考えた 在宅医療の推進に向け厚労省から

> 思い描いてきた在宅ケアの取り組み方 の会が1994年の発足当時から考え、 動き始めたように思います。 式に倣い、いまようやく国、市町村が 私たち前橋・在宅ケアネットワーク

今回のインタビューでは、実際の在



■開業医の先生方に伺ったこと5点

①介護予防に関するご認識は? 先生方への質問は次の5点でした。

③二次予防対象者の把握事業に対し てのご意見は?

④「ほうかつ」との連携は?

①介護予防の必要性はすべての先生が 理解され、それぞれの工夫の中で、

うなご認識と課題意識をお持ちかに 援センター(以下「ほうかつ」)がどのよ 点から開業医の先生方と地域包括支 ついて伺いました。 宅医療の推進に向け、介護予防の視

②日常診療での介護予防の視点は?

⑤地域包括ケアシステム構想について のご意見は?…でした。

# **■この質問に対する反応は:**

取り組まれていました。しかしそれ まだまだハードルが高い印象でした。 を地域の取り組みにしていくには、

# ②日常診療での介護予防の視点は

難、との意見がほとんどでした。 者として意識することは現状では困 診療の中で患者を二次予防の対象

# ③二次予防対象者の把握に関しては

り、その情報が届いていない現状が さわやか健診の中で行われていた生 明らかになりました。 の介護予防事業に関する情報であ 者を意識する機会がなくなった。 ため日常診療の中で二次予防対象 活機能評価判定が郵送に変わった ・先生方が求めているのはその地域

# 「ほうかつ」との連携では

加を促したいと考えている。 報を得て必要な患者に同事業への参 ・出来るなら「ほうかつ」が開業医に ・地域での介護予防事業に関する情

# ⑤「地域包括ケアシステム」については

立寄り情報を提供してほしい

の意見を伺いました。 が必要・連携の環境が整っていな 多くの医師が持つべきである。 い。・「かかりつけ医」の意識をより 情報不足・診診連携の体制整備

# 「ほうかつ」に伺ったこと3点

しました。 「ほうかつ」には主に次の3点を質問

②開業医との連携についてお考えは? ①二次予防対象者への取り組みと課

元気·安心·笑顔,

前橋市地域包括支援センタ

の3点を中心に「ほうかつ」の業務状況 ③在宅医療の推進にむけた課題は? などを伺いました。 ■この3つの質問に対する反応は・

# ①二次予防対象者の把握に関して

法など取り組みに地域差がみられ ・郵送による全件調査の他に把握方

・27年度の法改正を受け介護予防 の提供体制の整備が急がれる。

# ②開業医との連携については…

- なくなり連携が薄くなった。・ 医師による生活機能評価判定が
- 連携の必要性は感じていない。 ・二次予防対象者の把握に関しては 連携用紙などで連携を深めている。 介護保険においては主治医意見書
- 伝の強化。 介護予防の提供体制の整備と宣

# ③在宅医療の推進に向けた課題では

となるには体制が不十分。 在宅医療に関し「ほうかつ」が中心

> 民が気軽に寄り合い、話し合えるよう 位・圏域単位で開催され、関心ある市 らが継続的に、私たちが暮らす町単

になってほしいと思います。 め、多くの市民に知っていただくために 方々なのか? ケアに携わる人々を始 の対象になる方のイメージはできても 予防とは、何を指すのか? 介護保険 ろは大きいと思いました。 も、今後「ほうかつ」に期待されるとこ 介護予防の対象になる方はどういう 識を高めていく必要があります。介護 そのためには、関係者個々の連帯意

った取り組み、「終活」に見るように終 を皆さんで考えることが大切と考え 末期をどのように迎えていきたいのか、 れてからではなく、予防的な視点に立 介護保険や在宅医療の必要性に迫ら 在宅医療の今後一層の推進に向け

になりました。 主体的に活動をしていることも明らか く連携し、自治体やその地域の住民が 識の高い地域では、「ほうかつ」とうま 今回のインタビューでは、住民の意

互いに思いを伝え合い、少しおせつかい が見える関係づくりからスタートし、 まずは、地域で皆さんのお互いの顔

> ようか? を焼く機会を作ってみてはいかがでし

# 提 案 各地区で介護に係わる方々が 寄りあう機会の提供を!

わる仕事についておられます。 今、 地域には多くの方が介護に携

るところから…。 業医の先生方との顔合わせなど、でき の介護保険事業所等とその地区の開 ませんか? 「ほうかつ」とその地域 た地区ごとの活動を、復活させてみ 会が、発足当時に定例的に行ってい 本会前橋在宅ケアネットワークの

ることを期待したいと思います。 SOS事例などを持ち寄りつつ、互いの 垣根を越えたフレンドシップが生まれ 是非本会にご連絡下さい。ゆくゆくは いただける方がいらっしゃいましたら、 っていただく人が必要です。お声掛け そのためには、その地域で中心とな

以上、インタビュ

申し上げます。 です。ご協力いただ 一の結果報告と提案 いた皆様に厚く御礼



は地域で開業の先生方も積極的に ど実務者レベルでの具体的な取り組 意見を聞くことができました。 参加する体制が望まれる。などの みを模索する必要があり、その際に ・在宅医療の推進では事例検討会な

# |インタビューから 見えてきたこと

ムや実務者向けの研修会などを頻繁 に開催されるようになりました。これ 築に向けた取り組みでは、市をはじめ 「ほうかつ」、医師会が関連のフォーラ 現在、「地域包括ケアシステム」の構 まい・医療・介護・予防・生活支援

体的に提供されるシステム…と

後まで続けることができるよう、 地域で自分らしい暮らしを人生の最 な要介護状態となっても住み慣れた

化

伴い

が進展に 高齢

した。

地域包括ケアシステムとは、

重度

ムの構築」 アシステ 域包括ケ

が叫ばれるようになりま

しかしこのシステム

診療所の先生もしくはケアマネジ

基本になったケアプランが

般的

ように思いますが、部分的に訪問

看

さんからの依頼でサービスを開始

前

# ■訪問看護ステーションからひと言

# 訪問看護のご紹介と活用のヒント 早めの床ずれ、褥瘡の予防対策を

(株)マイナースひかり 伊藤光子



これからというところのようです。 時期から病院、 問看護師は約130名ほどです。 が具体的にどのようなものかはまだ されています。 で身に付けてきた経験と知識 橋市内に32か所あり、そこで働く訪 訪問看護ステーションは現在、 私たち訪問看護師は、看護学生の

うと日々、研鑽に励みつ 間体制で行っています。 代の社会の要請に応えよ を発揮し地域包括ケア時 在宅での看護を24時

管理、 器の管理、リハビリテーション、 で療養されている患者様 日常生活の支援、 訪問看護の業務は在宅 体調管理、 医療処置、 医療機

ますが、 の連携、 期を支えるなど幅広い内容にわたり 院退院時から在宅療養に移行する際 訪問診療をされている在宅療養支援 8 指示書)によって行われます。そのた つけ医の先生からの指示(訪問看護 訪問看護をご利用いただくのは、 その実施は患者様のかか そして終末期ご自宅での最 病 n

> 護ステーションに直接ご依頼 したいと思われた場合には、 もし在宅療養で訪問看護を利

診療所など医療現場

り、主治医の先生、 きます。ご相談によ ケアマネジャーにこ

©日本訪問看護財団 ちらから連絡し、 も可能です。 とをお伝えすること 用のご希望があるこ 在宅で

りのことがありましたら、 ステーションに相談してみて下さい の療養、 看護でお 訪問看護

変化、 ことになります。 ちです。特に床ずれ(褥瘡・じょくそ の方の場合、 間がかかり患者様も介護者も苦しむ う)<br />
はいったん発症すると対策に時 介護が長引くとお年寄りの体調 全身状態の変化を見落としが ヘルパーの訪問介護が 介護度が3くらい

する場合が多く、 したらよいか、 のが実状です。 あまり知られていな 談いただくこともで 般にはどう利用 訪問看 ・ご相 用

可能になると思います。

アマットの利用などの方法で予防

発生を予測し、

適宜の体位交換、

状態をチェックすることで床ずれ 護をいれていただくと定期的に全身

 $\mathcal{O}$ 

力をお願いしたいと思います。 か かりつけ医の先生方、ケアマネ の皆さま、 ぜひご理解とご協

(本会理事)

# 人が価値を創り 人に価値を提供する

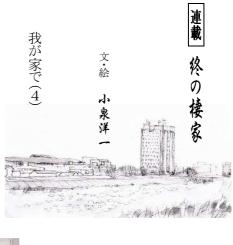
## 代表取締役 石 井 紀

〒371-0023

群馬県前橋市本町一丁目1番3号 AMD 本町2F TEL 027-221-1717(代)

できるか、既存法人に対しての課題を って如何に満足のゆくサービスを提供 に参入しており、介護を受ける者にと

昨今、様々な事業主体が福祉分野



祉法人の監事の役を頂いて既に10 るが、多様な形をした高齢者介護の 現状や今後の施設の在り方などについ 際など研修や大会に参加させて頂い を超える。制度や会計基準の改正 現今の状況も学ぶことが出来た。 必要性や在宅介護の家族の負担等、 ている施設も高齢化対応が迫られてい 前半の2日間の研修を終えた。関わつ てのセミナーを受ける事となり、先日 ているが、今年もまた福祉を取り巻く 障害者福祉施設を運営する社会福

与えられたような気がしている。

のであり、生活の基盤となる住まいに 圧倒的多数が個人の財産に属するも て住宅を捉えてきた。また、住宅は、 られながら最期を迎えられる場とし とは根本的に異なる。 ついての制度的な負担を負う北欧など 徐々に心身の機能を失い、家族に支え ところで、一定の年齢に達すれ ば



ちの話を聴き、その精神を素晴らしい に対し身体を張って対処している方た しれないが、例えば、認知症の高齢者 自分自身もいずれその病を得るかも

> いる限りは生活しなければならない場 てみて、生きることとは、そして生きて と思うし、自分も今、その端に関わっ とは何処か、を考えさせられている。

域と医療、看護、介護の専門職の連携 また、医療施設や介護施設等の専門 がその主役となっている。 介護者が生活する住宅を核とした地 括ケアセンター構想にあるようだ。被 如くであるが、解決策の一つが地域包 機関における多数の方々の労力と莫 大な経費が投じられているのは周知の 在宅での介護者の物心両面の負担、

どが改めて必要な気がする。 門職間の更なるネットワーク強化、医 共有とボランティアマインドの醸成、 支援を実らせるためにも近隣の情報 がうまく機能するか、在宅ケアの地域 地域としての連携が希薄なコミュニティ による福祉を中心にした街づくりな 療福祉部門と都市計画部門との連携 但し、少人数家族の住まい方に慣れ 専

境に応じた選択をせざるを得ないのが ていると思うが、本人と家庭と他の環 最後の休み場となれば、と誰もが願っ いつか迎える人生の終焉に我が家が

現状のようだ。

が迎えられたら「良かった」と言えるの だけの宝物がある風景のなかでその時 た実績もあるので、手垢のついた自分 って次の世界へ行くほどのこともないよ かもしれない。 うであるが、自分にとっては生きてき ほんの砂粒のような我身も感傷を持 (編集委員)

# 編集後記

する機会でしたでしょうか? られたでしょうか。親族が一堂に会 皆様、お正月はどのように迎

ものは病にかかるし、衰えます。 な凶器になってきています。生ける る事件などみるにつけ、便利が大変 つの間にか知らない内に。 首都高速に自転車で進入・逆走す

すが、 とのこと。価値観が違っても、 ものてす。 が多数おいでと思います。「地域と 動出来る自分たちだと思われる方 と何時の時代も一番大切なのは活 社会ではなく人口も1億人を割 交流」で良い方向性を見出したい 少子高齢化と福祉が今の課題 30年後わが国は少子高齢化 (平田・編集委員) きっ る

# 「かかりつけ医」として健康と介護の相談に応じます

# あらいクリニック

院長 新井 和男 診療科目 外科 内科 〒371-0846 前橋市元総社町 848-7 TEL 027-253-0100 FAX 027-253-0020

# 富 沢 内 科 医 院

院長 富澤 隆 診療科目 内科 特技 笑いの療法士 〒371-0841 前橋市石倉町 2-7-4 TEL 027-251-4779 FAX 027-251-4777

## 中田クリニック

院長 中田 裕一 診療科目 内科 小児科 〒371-0837 前橋市箱田町 1039-4 TEL 027-251-1360

# 吉 野 医 院

院長 吉野 昭男 診療科目 内科 精神科 神経科 〒371-0018 前橋市三俣町 2-13-10 TEL 027-232-3333

# 医療法人龍邦会 東前橋整形外科

理事長 釜谷 邦夫 診療科目 整形外科 リハビリテーション科 麻酔科 〒379-2104 前橋市西大室町 1317-3 TEL 027-268-5777 FAX 027-268-5778

# 医療法人 北関東循環器病院

理事長 市川 秀一 循環器科 心臓血管外科 眼科 内科 外科 〒377-0061 渋川市北橘町下箱田 740 TEL027-232-7111 FAX 027-233-9092

# 木 暮 医 院

院長 木暮 正美 在宅療養支援診療所 〒370-3574 前橋市清野町 104-1 TEL 027- 251-9101 http://www.gunmanet.or.jp/masami

## 医療法人 一羊会 老人保健施設 一 羊 館

〒371-0122 前橋市小坂子町 1012-5 TEL 027-269-6667 FAX 027-269-6668 ※入所サービス 定員 100 名 短期入所サービス(うち認知棟 50 名)

短期入所サービス(うち認知棟 50 名) ※通所リハビリテーション 定員 30 名

# ip

ŧ

よろ

お

願

6

中

上

げ

#

平

、 ニ 十

t

年

# **斉藤内科泌尿器科医院** 院長斎藤浩

院 按 解膝 信 副院長 斎藤 浩樹 〒371-0037 前橋市上小出町 2-42-5 TEL 027-231-1069

# 医療法人宮 石 内 科 医 院

院長 宮石 和夫 診療科目 内科 放射線科 〒371-0051 前橋市上細井町 1955-1 TEL 027-234-1876 FAX 027-234-0674

## 公益財団法人· 救急指定病院 **老年病研究所附属病院**

院長 高玉 真光 〒371-0847 前橋市大友町 3-26-8 TEL 027-253-3311

救急協力診療所 脳神経外科

## 前 橋 脳 外 科 クリニック

院長 長屋 孝雄 〒371-0012 前橋市東片貝町 720 TEL 027-221-8145

# 伊藤 内科 医院

院長 伊藤 雄一

内科 循環器科 呼吸器科 胃腸科 神経内科 〒371-0031 前橋市下小出町 2-49-16 TEL 027-232-0537

# 嵯峨小児科医院

院長 嵯峨 六雄 診療科目 小児科 アレルギー科 〒371-0056 前橋市青柳町 494 TEL 027-232-1188

## 山 下 医 院

院長 山下 由起子 診療科目 外科 消化器科 内科 〒371-0016 前橋市城東町 4-11-17 TEL 027- 231-3726



